

News Letter

2021年

11月

中国四国農政局
山口県拠点

地元の中学生も参加！～いちご甘酒が完成～



いちごの栽培風景

光市大和地域の特産品を作ろうと、地元酒販店、菓子処のパティシエ、農事組合法人つかりの3者が共同して、周南市の酒造会社に製造を依頼し開発した商品を、11月6日から地元産いちごを使った「光のいちごと甘酒」として市内3店舗で販売を始めました。

また、商品の顔となるパッケージデザインやネーミングは、地域への愛着と誇りを持ってもらいたいと地元の大和中学校生徒に依頼し、光市のグラフィックデザイナーが生徒らのアイデアを基に完成させました。

原料のいちごを生産する同法人の森田代表は、今年に入り、試飲などメンバーで検討を重ねました。

生産している4品種のいちごの中から酸味のある「おいCベリー」と、香りが強い「やよいひめ」を使っています。

いちごの香りや食感、爽やかさが絶妙で、とても美味しい甘酒に仕上がりました。売れ行きも好調でただ今増産中です。

森田代表は、「農業環境は後継者不足などで依然厳しいが、子供らが我が町の地域づくりや農業に関心をもってくれるきっかけになればうれしい。」と語られました。



光のいちごと甘酒

「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」第8回選定決定！！

「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」は、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現のため、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化や所得向上に取り組んでいる優良事例を選定し、全国に発信する取組で、令和3年11月19日に公表しました。

全 国 選 定

株式会社63Dnet（長門市）

地域食材を使った、コロナの状況でも強い商品づくりと幅広い販売チャンネルの確立により、地域事業者の収入確保に貢献。

農業者が6次産業化を行うために必要な施設や専門知識・ノウハウを補完し6次産業化を支援する「ながとらボ」を運営。

地域食材専門の店舗「LaLaフラン」、道の駅センザキッチン内に「ララベーカリー」、地元食材を使った非常食の販売など、販路を拡大。

（裏面に続きます）

中国四国農政局「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」

局選定及び奨励賞決定！

中国四国農政局では、「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」に応募のあった地区の中から、今後の活躍が期待できる地域活性化の事例を「中国四国農政局『ディスカバー農山漁村（むら）の宝』」として選定しました。

山口県内では、以下の5団体1個人が受賞されました。

局 選 定

FAM 'Sキッチンいわくに

(岩国市)



直売所において独自の集出荷システムを用い、岩国地域全域から商品を出荷しやすい体制を整備。巡回トラックにより集荷を実施。

陳列エリアを生産者に割り当て、生産者自らが創意工夫（POP掲示）して販売を展開。

梅川 仁樹

(岩国市)



わさびの超促成栽培を検証し、収益性の高い新技術を確立。県農業士協会のリーダーとして、県内全域における移住・定住、新規就農者の支援に取り組む。

人・農地プラン等の話し合いに参加し、課題解決に向けた方針作成に寄与。

奨 励 賞

吉敷畑集落協定

(山口市)



機械の共同化や無人ヘリコプターによる共同防除体制の確立、鳥獣被害防止柵を農地の外周全てに設置。

農地の法面にシバザクラを植栽。吉敷畑棚田とシバザクラの景観形成活動を行う。

農事組合法人木与なぎさファーム

(阿武町)



集落の農地を守るため法人を設立し、機械の共同化や無人ヘリコプターによる共同防除体制を確立。

獣害防止柵を農地の外周全てに設置。集落の大部分の農地を法人へ集積。

光市農業振興拠点施設「里の厨」

(光市)



地元食材を使用した加工品を製造。地元農産物と加工品の販売を行う。種まきから収穫までの農作業体験、収穫物を使用した加工品づくり体験や調理体験等を実施。

株式会社SD-WORLD

(長門市)



温泉街でジビエや地元食材の料理を提供する飲食店を運営。

セントラルキッチンとして、地域資源を活用した料理を旅館に提供。簡易宿泊形態のゲストハウスを開設。

◎「News Letter」は、原則奇数月に発行しています。

編集：中国四国農政局 山口県拠点

〒753-0088 山口市中河原町6-16

TEL (083)922-5404 FAX(083)934-1120 <農政局HP> <https://www.maff.go.jp/chushi/>

◆ニュースレターに関するアンケートにご協力ください。 <https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/nl180401.html>